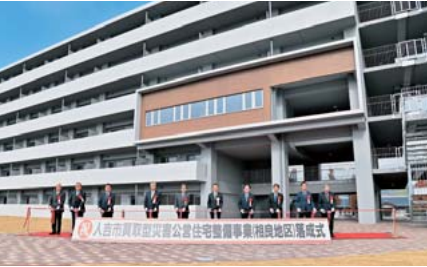


相良町災害公営住宅の入居が始まりました

令和2年7月豪雨で被災した人たちの恒久的な住まいとなる相良町災害公営住宅が令和5年12月に完成し、1月から入居が始まりました。仮設住宅から同住宅へ入居した男性は「仮設住宅ではたくさんの出会いがあり、被災者同士で寄り添いながら楽しく暮らせた。新しい場所で新たなコミュニティができるのが楽しみ」と話していました。



◀令和5年12月10日に行った落成式では、入居者代表者への鍵渡しや同住宅建設に尽力した業者への感謝状贈呈、テープカットを行った



▲松岡市長はじめ関係者がテープカットし、住宅の完成を祝った



▲間取り4タイプの120戸の部屋に加え、入居者や地域住民のコミュニティの場としてサロンや集会所を整備している



..... 相良町災害公営住宅の入居者を追加で募集します

同住宅では申し込みの取り下げがあったことから入居者を追加で募集します。応募が多かった場合は、抽選で決定します。詳しくはお問い合わせください。

構造	間取り	入居人数	募集戸数
中層耐火構造 6階建て	2LDK	3人以上	1戸

申込期限 2月29日（木）（必着）
申込方法 市住宅政策課市営住宅係（市役所2階2-1番窓口）にある申込書に記入し、必要な書類（罹災証明書など）を添えて提出してください。
※単身世帯は対象になりません。

問合せ 市住宅政策課市営住宅係（☎22-2111 内線2231）

公園の利活用についての説明会を開催します

市では、中川原公園と人吉城跡公園の利活用を検討するために令和5年10月から「公園の未来を語る会」を開催してきました。同会で出された意見やアイデアが復興まちづくり計画にどのように反映するのかなどを説明します。これまでの結果については市ホームページをご覧ください。

申込・問合せ 市都市計画課計画公園係（☎22-2111 内線2213）

公園の利活用についての説明会

日時 2月8日（木）①午後2時～ ②午後6時～
※どちらも内容は同じです
場所 ①市保健センター2階会議室3 ②市役所3階301会議室
定員 ①36人 ②80人



▲市ホームページ

便利で簡単、すぐ取得！ 証明書交付機を市役所に設置

マイナンバーカードを利用して、本市が発行する証明書（住民票の写し、印鑑証明書など）を取得できる証明書交付機を、市役所1階に設置しました。同交付機は、コンビニ各社に設置されている証明書交付機と同じもので、市役所で操作方法を覚えてもらうことで、コンビニでも安心して利用できます。操作方法が分からない場合は、お気軽に市民課市民係に声を掛けてください。利用時間など詳しくは市ホームページをご覧ください。



▲詳しくはこちら



申請書類を記入する必要がなく、窓口にならずに取得できる

被災の経験生かし支援を 能登半島地震被災地に対する職員派遣

令和6年能登半島地震の被災地を支援するため、1月23日から本市職員1人を石川県輪島市に派遣しました。熊本県と県内市町村合同チームの第1陣として派遣したのは、税務課の新村衛主幹。住宅被害の認定調査や罹災証明書発行などの業務に当たります。

1月22日には市役所出発式を行い、新村主幹は「本市が被災自治体として受けた恩を少しでも返したい」と意気込みを述べました。市では、引き続き被災地のニーズに合わせて職員を派遣していく予定です。



出発式では迫田副市長が新村主幹を激励

「野球しようぜ！」 大谷翔平選手からグローブ寄贈

大リーグで活躍するドジャースの大谷翔平選手が全国の小学校に贈ったグローブが、本市にも届きました。

グローブは市教育委員会から市内各小学校に配布。このうち西瀬小では1月19日の児童集会でお披露目。浅生校長から紹介があると、子どもたちは目を輝かせて喜びました。児童を代表して6年生の田頭凛凜さんと木屋蓮君がグローブを手に取りキャッチボール。田頭さんは「初めてのキャッチボールが大谷選手からもらったグローブでうれしい」と笑顔で話しました。



グローブには大谷選手のメッセージが同封されていた

漢字と熟語で生き方学ぶ 講演「命の授業」

ワタナベエンターテインメント所属のお笑い芸人・ゴルゴ松本さんによる命の大切さを伝える講演「命の授業」を令和5年12月22日にスポーツパレスで開催しました。市教育委員会が取り組む「命を大切にすることを学ぶ」授業の一環で、市内全中学生約800人が参加。

ゴルゴ松本さんはホワイトボードに「命」や「意志」などの漢字や熟語などを書き、言葉の持つ意味や込められた思いを解説しながら、生きる意味や助け合うことの大切さなどを生徒たちに伝えました。



漢字の「命」を体で表現するゴルゴ松本さん